

Charity Concert Soprano Recital

チャリティーコンサート 大岩千穂

2010年2月25日(木) 開場 14:00
開演 14:30

国分寺市立いずみホール
JR西国分寺駅南口駅前



【主な演奏曲目】

オペラ「椿姫」より
“ああ、そはかの人か～花から花へ”
“さようなら、過ぎ去りし日々”

オペラ「マダム・バタフライ」より
“ある晴れた日に”
“かわいい坊や” 他

チケット発売:11月1日～
チケット料金:4000円

主催:国際ソロプチミストくにたち

<http://www.si-kunitachi.org/>

お問合せ先: 実行委員長 井出
042-575-5450 (AM10:30～PM5:00)

大岩千穂 おおいわ ちほ

『椿姫』のヴィオレッタなどで国際的に評価されるオペラ・ディーヴァ。国立音楽大学卒業。

ヴィオットティ音楽院オペラ科マスターコース首席卒業。

1996年フラヴィアーノ・ラボー国際声楽コンクール第1位。

第1回国際オペラコンクールin Shizuoka最高位、及び三浦環賞他数々の国際コンクールに入賞。

『椿姫』のヴィオレッタでイタリア（ヴェルチェッリ）デビュー、98年ザンクト・マルガレーテンでは『カルメン』のミカエラに急遽代役出演し、成功を収めた。

その後、99年ハンガリー国立歌劇場で『ラ・ボエーム』のミミ、イタリア・アスコリ・ピツェーノ歌劇場、及びヴェニス・フェニーチェ歌劇場で『蝶々夫人』のタイトルロールを歌い絶賛された。

その間日本では、97年藤原歌劇団『ラ・ファヴォリータ』イネス、『カルメン』ミカエラでデビューを飾り、2002年同『椿姫』ヴィオレッタ、03年新国立劇場『ラ・ボエーム』のミミで大成功を収めた。

02年パームビーチ・オペラでのレナータ・スコット演出『蝶々夫人』にて米国デビューを果たす。

03年ヴェルディの「レクイエム」でチェコ・フィルと共演。

05年、7月『蝶々夫人』（兵庫県立芸術文化、佐渡裕指揮）、06年10月『海賊』（びわ湖、若杉弘指揮）と、常に話題のプロダクションに参加。

近年はドイツ語圏の作品にもレパートリーを拡げており、04年ザ・シンフォニーホールでのマーラー「交響曲第4番」で絶賛を博したのをはじめ、08年10月『サロメ』タイトルロール（びわ湖、沼尻竜典指揮）では主演。国際的に通用する存在感と表現力、そして天性の声により真のリリック・ソプラノとして国内外で注目される。

第10回グローバル東教子賞受賞、1998年村松賞、受賞、五島記念文化賞オペラ新人賞受賞、リクルート・スカラシップ各賞受賞、2001年文化庁在外派遣研修員。05年度ロームミュージックファンデーション在外研究生。07年CD『恋のアランフェス』をリリース。

二期会会員 ホームページアドレス<http://opera.coolblog.jp/>



森島英子 もりしま えいこ



東京藝術大学音楽学部ピアノ科を卒業。

中山靖子教授にピアノ独奏、中山悌一教授にピアノ伴奏を師事。1982年度文化庁派遣芸術家在外研修員として、シュトゥットガルト音楽大学に留学、コンラート・リヒター教授のもとで、リート科を修了。藝大在学中より、伴奏ピアニストとして演奏活動を開始。現在第一人者として、多くの声楽家と演奏会、放送等で共演している。

オペラ分野でも、日本有数のコレペティートル、チェンバリストとして活躍。特にモーツァルト没後200年には、年間80回にも及ぶオペラ公演に携わった。また室内楽奏者としては、1985年東京弦楽合奏団とブランデンブルク協奏曲5番を協演したのを皮切りに、ウィーンフィルのコンサートマスター、R・キューヒル、W・ヒンク、R・ホーネック、D・ゲーデの各氏、ベルリンフィル、NHK交響楽団の首席奏者をはじめとする各国のアーティストとデュオ、トリオ等を共演している。

現在、N響室内合奏団のチェンバリストも務める。94度新日鉄音楽賞特別賞受賞。東京藝術大学講師、沖縄県立芸術大学、東京音大講師。日本声楽アカデミー会員。

【国際ソロプチミストくにたち】

国際ソロプチミストは、専門職で活躍する女性達による「奉仕」を目的とした世界規模の団体で、国連と連携しています。

くにたちクラブは、1987年5月に認証され、世界と地域に対する奉仕活動を行っています。

